



総務グループのアップ UP 通信 12月号 Vol.122

2021/11/25

12月14日は赤穂浪士討ち入り事件が起こった日。年末になるとよく見かける『忠臣蔵』は、その事件をもとにしたお話です。長く愛されてきた忠臣たちの物語と、その忠臣たちにゆかりのある赤穂のまちについて調べてみました。

赤穂浪士たちの物語

『忠臣蔵』のもとになった赤穂事件

元禄14年3月14日、赤穂藩主の浅野内匠頭が江戸城の松の間で、高家の吉良上野介に切りかかる事件が起きた。將軍徳川綱吉はこの出来事に激怒。浅野は即日切腹、浅野家は領地や身分を没収された。一方の吉良は軽症でお咎めもなかったため、浅野の家臣たちが反発。浅野家筆頭家老の大石内蔵助は、お家再興に動いたが思うようになかったため、吉良邸討ち入りを決意。浅野の命日の12月14日の夜、46人の家臣を引き連れて討ち入りし、吉良の首を取って浅野の墓前に供えた。その後討ち入りを幕府に報告し、幕府の命に従って全員切腹した。(所説あり)

『忠臣蔵』とその関連作品

理不尽な苦境の中、主人の仇を討った忠義の士たちの姿が、町人たちの心を打ち、赤穂事件を題材とした作品が数多く作られた。47年後に人形浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』が公演され、それが現代にまで愛される『忠臣蔵』の原点になった。

人形浄瑠璃

幕府が同時代の政治的事件を上演することを禁じていたため、室町時代を舞台に創作された。登場人物も全く違う名前だったが、庶民には赤穂事件のオマージュとして広く知られていた。討ち入りのシーンを大きく取り上げている作品が多いなか、『仮名手本忠臣蔵』は討ち入り前の人間模様を大きく脚色し、色恋沙汰まで盛り込まれた創作物になっている。



歌舞伎

人形浄瑠璃で公演された同年に、歌舞伎でも公演された。「早替え」と呼ばれる1人の役者が瞬時に多くの役を演じ分ける手法や人形のような姿(人形身)から人間に変わっていくなど、人間が演じるからこそその演出も盛り込まれた。

『東海道四谷怪談』

お岩さんで有名な怪談だが、実はお岩さんは塩谷家(史実でいう浅野家)家臣の娘という設定。この演目は『仮名手本忠臣蔵』と同時上演されていた。



落語

落語における忠臣蔵は、そのまま語るのではなく裏話や笑いの種として演じられた。説明不要のエピソードとして町民によく知れ渡っていた証と言える。



映画・ドラマ

赤穂事件や忠臣蔵を元にした映像作品は数多く作られている。人気があるのは『忠臣蔵(1958年・大映)』『赤穂浪士(1961年・東映)』『忠臣蔵(1985年・日テレ)』。最近では討ち入り予算に視点を当てた『決算!忠臣蔵(2019年)』や、ファンタジー要素が盛り込まれたキアヌ・リーブス主演『47RONIN(2013年)』などオリジナル要素がプラスされ長く愛されている。

赤穂の観光地

赤穂市ってどこにある?

兵庫県と岡山県の県境に位置し、神戸から車や電車だと1時間半で行ける距離。古い町並みが残る観光地として強い人気がある。

赤穂城跡公園

初代浅野家当主により建てられた城。城郭と庭園が有名で、天守閣は建てられなかった。大石内蔵助の屋敷や大石神社もこの公園の敷地内。



大石神社

47人の赤穂浪士や浅野家を祭る神社。江戸時代祀ることが許されなかったため、明治に入って建立された。



海洋科学館・塩の国

塩づくりの町として栄えた赤穂。瀬戸内海と塩をメインテーマに、塩づくりの歴史や技術、赤穂の自然や海の知識を学べる。昔ながらの塩づくりも無料で体験できる。



赤穂温泉

2000年に新しく掘りなおされた別名「よみがえりの湯」。ミネラルと塩分を多く含む保温効果が高い温泉。播磨灘に面した高台に位置するため、美しい景観を眺めることができる。





昨年 5G のサービスが始まりましたが、使ってみた人はいるでしょうか。高速通信に加えて低遅延、同時多数接続が特徴の 5G は IoT 関連テクノロジーに進化をもたらすといわれていますが、同時にセキュリティ上の懸念もあります。今回はこういった期待点と懸念点についてまとめたいと思います。

5G の特徴とは

5G は現在主流になっている 4G に代わる新しい通信規格・通信技術です。大きな特徴として、

①高速大容量通信

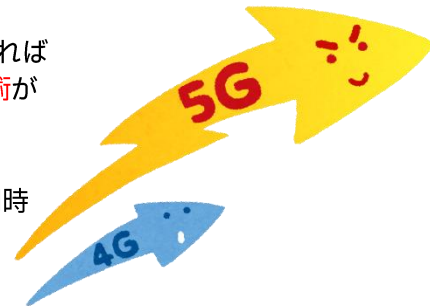
5G の通信速度は 4G の 100 倍に、通信容量は 4G の 1,000 倍になると言われています。4G で 10 秒かかるデータ通信も 5G ではわずか 0.1 秒と、劇的な速さでの通信が可能になります。スマホでの動画視聴・ゲームなどはさらに快適になるでしょう。

②低遅延

5G の遅延（タイムラグ）は 4G の 10 分の 1 になると言われています。遅延が減少すれば限りなくリアルタイムに近いデータ通信が可能に。自動運転や遠隔手術といった新技術が現実的なものになり、社会に大きなインパクトを与えるでしょう。

③同時多数接続

5G における同時接続数は 4G の 30 倍以上で、1km² あたり 100 万台のデバイスの同時接続が可能になると言われています。これにより IoT 化が加速し、スマートハウス、スマート工場、スマートシティなどは大きな進化を遂げるはずで



このように、今後 5G が世界のさまざまなところで利用されるようになれば、種々のテクノロジーが誕生し、また大きく進歩すると言われています。

5G で懸念されるセキュリティリスク

上述の「同時多数接続」は 5G の大きな特徴であり、5G によって IoT 化が加速していくのは間違いありません。そうして利便性が向上する一方でセキュリティリスクも高まると言われています。今後はこれまで接続されていなかった膨大な数の機器がインターネットに接続されるようになりますが、これはサイバー攻撃のターゲットも増えるということです。

たとえばエアコンや洗濯機などの家電も、インターネットに接続されることで、サーバーや PC と同じ脅威にさらされることになるのです。実際に、IoT 機器は狙われ始めています。総務省が所管する NICT によると、日本の企業や団体に対する 2017 年のサイバー攻撃関連通信のうち IoT 機器への攻撃が約 54% を占めていたそうです。家庭やオフィスにある、ブロードバンドルーターやモバイルルーター、Web カメラ、ビデオレコーダー、複合機などの IoT 機器が乗っ取られ、サイバー攻撃の踏み台や他の IoT 機器への感染拡大に利用されるようです。

このように 5G 時代が到来すると IoT 機器が飛躍的に増え、現在より被害が深刻なものになるおそれがあります。セキュリティ対策に少しでも綻びがあれば、そこが踏み台となって他者にも攻撃がなされ、被害がどんどん伝播していく危険性があります。あらゆるものがネットにつながった世界では、危険も連鎖してしまうわけです。

5G 時代にセキュリティで気を付けること

今後、5G がインフラに浸透すればするほど、IoT 機器への攻撃をはじめとするセキュリティリスクが高まるのは間違いありません。下記のような対策を、今以上に徹底していく必要があります。

- ・セキュリティレベルの高い IoT 機器を選ぶ
- ・パスワード管理を徹底する
- ・ファームウェアをアップデートする

新しい技術への理解（特にリスク面）を深めるとともに、適切なセキュリティ対策を講じていきましょう。

